

「それ何なん？」地方創生にまつわる言葉、ご説明します！

第5回：「半X半IT」ってなに？

都市部で働く人の中にも、仕事だけに縛られない生き方を希望する人が増えているようです。そうした変化に伴って企業の労働環境改善への取り組みも加速。例えば従業員の「仕事」と「暮らし（遊び）」を高いレベルで両立可能にする「ワークライフバランス」の向上は昨今の企業経営テーマのひとつになっています。

美波町のサテライトオフィス進出第1号のIT企業が提唱した「半X半IT」というライフスタイル。IT業を生業にしながら、都市部では優先度を下げざるを得ない個人の嗜好(X)を両立させたいという考え方は、美波町にサテライトオフィス企業が集まるキーワードのひとつになっています。都市部では「仕事」に一生懸命であればあるほど、趣味や子育てや地域活動などの時間が制約されがち。都市暮らし地方暮らしのどちらであろうとも、人にとって「仕事」も「暮らし（遊び）」も大切なはず。どちらかが犠牲になるのではなく、両方の充実を大切にする生き方ができる町って素敵だと思いませんか？

職・住・遊が近接している美波町だからこそ実現できる、新しい働き方・生き方が広がっていきばいいですね。

地方創生トピックス

門前町アート展、開催！

2017年5月3日から7日の4日間、美波町の桜町商店街で「門前町アート展」が開催されました。写真、色えんぴつ画、拓本、絵手紙など、様々な分野の芸術・アートに関わる地元作家や県南出身作家が集い、約100点の作品を展示。美波町の住民や他地域からの観光者が観賞しました。

美波町出身の写真家、原田文裕さんは「美波町や県南出身の芸術家が県外で活躍していても、地元の人を知る機会が少ないので、この取り組みによってもっと知ってもらいたい。また、美波町の人たちの生活の中に、創作活動が少しでも組み込まれていくようになれば嬉しい」そのため今後もできる限り美波町の人たちの作品を多く展示しながらアート展を継続していきたい、とのこと。

美波町の資源を活かした創作作品が増えれば、この地域の魅力がより多くの人に伝わるのではないでしょうか？



お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリノ2階)

リレーコラム6 美波町の魅力プロジェクト

美波町観光協会

平林 千鶴

私は、地域おこし協力隊としてここ美波町に来ました。まだ1ヶ月ほどしかたっていないんですが、とても温暖でゆるやかな生活が、とても心地よいと感じています。家の近くに川と海が混じり合った河口があるのですが、そちらの景色がとても素晴らしく、また川の透明度が高く、その景色を眺めながら仕事から帰ることが楽しみです。他にも、仕事場近くにある小さなカフェがあるのですが、そのカフェエントランスもおしゃれです。古民家を活用した様々な取り組みも美波町の魅力の一つだと思います。私も横浜から来て、何も分らない状態でしたが、美波町では移住者を温かく受け入れてくれる「おもてなしの心」があると感じました。人々も人懐っこく、明るく無邪気な人たちが多く感じます。横浜から来た私にとって、地元で採れる新鮮野菜などを食べられることは何よりの贅沢で毎日美味しいです。横浜で過ごしていた時と違い、美波町では自転車で川へ遊びに行ったり、公園で遊んだり、海岸でんびりしたりゆつくりした時間を自然多い美波町で過ごしています。これから協力隊として新しいことにチャレンジしたいと思っています。

今回は、同じく地域おこし協力隊として3年目を迎えている「総務企画課の清水彩香さん」にリレーコラムをお願いしたいと思います。